

## 会 議 記 録 (1)

会議名称	平成26年度 第2回北本市国民健康保険運営協議会
開会及び 開会日時	平成26年8月7日(木) 午後1時30分から午後2時30分
開催場所	北本市役所3B会議室
議長氏名	会長 大熊利之
出席 委員(者) 氏名	田村恵司、岡田定子、金田栄三、加藤耕一、大熊利之、伊藤裕子 鈴木義信、山田憲次、今井定好、若林卓成、小川楊子、中村哲哉
欠席 委員(者) 氏名	荻野義信、岡田泰子、野尻 学
説明者の 職員氏名	保険年金課長 矢口 英夫 保険年金課主幹 加藤 孝文
事務局 職員氏名	保健福祉部長 加藤 功 保険年金課長 矢口 英夫 保険年金課主幹 加藤 孝文 納税課長 梁嶋 利美 納税課主幹 大澤 英雅
会議 次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 諮問</li> <li>3 あいさつ</li> <li>4 議事録署名委員の選出</li> <li>5 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成25年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について</li> <li>(2) 平成26年度北本市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(案)について</li> </ol> </li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>
配 付 資 料	<p>会議次第</p> <p>資料1 平成25年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要について</p> <p>資料1-1 平成25年度北本市行政報告書(国民健康保険特別会計)</p> <p>資料1-2 平成25年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算書</p> <p>資料2 平成26年度北本市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(案)の概要について</p> <p>資料2-1 平成26年度北本市特別会計補正予算及び補正予算に関する説明書(案)</p> <p>別添1 高額療養費制度の自己負担限度額等の見直し(新旧比較表)</p> <p>別添2 高額介護合算療養費制度の算定基準額等の見直し(新旧比較表)</p> <p>参考資料1 年代別被保険者数の推移</p> <p>参考資料2 主な歳入歳出決算額の推移</p>

## 会 議 記 録 ( 2 )

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	<p>1 開 会</p> <p>本日の会議は、委員 15 名中、出席者 12 名、欠席者 3 名です。北本市国民健康保険に関する規則第 4 条第 3 項に規定する会議開催要件の過半数を超える委員のご出席をいただいておりますので本会議は成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>会議に入る前にご報告がございます。2 号委員の遠井勝弘さんが、6 月 30 日付けで辞任されました。後任に医師会の推薦により山田憲次さんを委嘱しましたので、委嘱状を交付します。</p> <p style="text-align: center;">～加藤部長より委嘱状交付～</p> <p>2 諮問 加藤保健福祉部長</p> <p>3 あいさつ 会 長 大熊 利之 氏 (一略一)</p> <p>4 議事録署名委員の選出 署名委員 中村 哲哉 氏 田村 恵司 氏</p>
事 務 局	<p>5 議 事</p> <p>では、北本市国民健康保険に関する規則第 4 条の規定により、議長を大熊会長にお願いします。</p>
議 長	<p>それでは、次第に沿って議事を進めたいと思います。</p> <p>始めに、(1)平成 25 年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について、事務局から説明を求めます。</p>
事 務 局	<p style="text-align: center;">—資料 1、1-1、1-2 を示して説明— (一略一)</p>
議 長	<p>ただいまの説明について質問がありましたら、挙手のうえ発言をお願いします。</p>
委 員	<p>決算書の 1 ページの国民健康保険税ですが、予算現額より調定額の方がだいぶ大きいのはなぜですか？</p>
事 務 局	<p>決算書の 5 ページから 6 ページをご覧ください。滞納繰越分の実際の予算額は、平成 25 年度に入ってくると見込まれる額を計上しておりますが、調定額は、過去の年度に納付がされていない分が溜まっております。その分は毎年、繰り越して調定をしており、滞納繰越分についてはどうしても入ってくると見込む予算額より調定額の方が大きくなりますので、そのた</p>

## 会 議 記 録 ( 2 )

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委 員	<p>めであると考えます。</p> <p>歳入の前期高齢者交付金ですが、年々増えているのは、65歳～74歳の方々が増えているからだと思いますが、これは、1人いくら交付されるのですか？ 年齢によって違うのですか？</p>
事 務 局	<p>前期高齢者交付金につきましては、算定が二本立てになっておりまして、まず前々年度の確定した額を精算した調整額と今年度見込まれる概算額の合計となります。その概算額は、前年度に実際にかかった65歳～74歳の方々の医療費の合計額から翌年度の概算額を算出し、交付額を決定しています。</p>
委 員	<p>では、単純に1人いくらという算定ではないんですね。</p>
事 務 局	<p>そういうことです。</p>
委 員	<p>前期高齢者の人数が増えているから、交付金も増えているということですね。また、人数だけでなく、医療費単価が増えれば、交付金も増えるということですね。</p> <p>それともう一つ質問ですが、平成25年度の歳入と歳出の差額が3億7千万円で、前年度の繰越金が4億6千万ですから、1億円くらい減っていますが、この金額の減少はたいしたことはないのか、それとも大きな問題になるのか？また医療費の伸びによるものなのか？</p>
事 務 局	<p>医療費は毎年伸びている状況です。ただ、毎年度赤字補てんの名目でその他一般会計繰入金が増え入っていますが、平成24年度より平成25年度の方が2億円程度減っています。それが、一つの要因であると考えます。ただ、その分前期高齢者支援金等が増えているため、結果的に決算剰余金が1億円程度減ったと考えます。</p>
委 員	<p>それはどう理解すればいいですか？</p>
事 務 局	<p>国保の特別会計の中で賄えればよいのですが、一般会計から繰入金が投入されていることを考えると、一般会計からの繰入金を減らしていく努力が必要といえます。</p>
委 員	<p>どういう努力が考えられますか？</p>
事 務 局	<p>まず、医療費の支出を抑制することが必要ですが、そのために保健事業に力を入れるとか、あるいは税率を上げて保険税収入を上げることも一つの方法かと思います。</p>
委 員	<p>特定健診の受診率の順位が北本市は、県内の市の中で17番目くらいで</p>

## 会 議 記 録 ( 2 )

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	<p>受診率が37%台と聞いている。桶川市の受診率が1番と聞いているが…。</p> <p>平成25年度の速報値では北本市は38%で、県内の平均が34%台ですので、県内平均は超えています、なかなか受診率が伸びない状況です。</p>
委 員	<p>国保税の滞納分については、どのような徴収努力をしているのですか？</p>
事 務 局	<p>現年分国保税の納税率は平成25年度が93.1%となっています。滞納整理については、現年分、滞納繰越分を差別することなく、督促、催告、その後滞納処分という手順で行っています。滞納処分としましては、最近では換価性の容易である預金、給与、生命保険等の債権の差押えを中心に行っております。現年と滞納繰越分を併せた平成25年度納税率は、県平均が62.7%で、北本市は70.4%ですから、8%近く上回っております。県内でも上から8番目の納税率となっておりますが、今後とも努力をしていきたいと思っております。</p>
議 長	<p>では、次の議題に移りたいと思っております。</p> <p>平成26年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（案）について事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>—配布資料2、資料2-1を示して説明— （一略—）</p>
議 長	<p>ただいまの説明について質問がありましたら、挙手のうえ発言をお願いします。</p>
委 員	<p>繰越金と繰入金の関係ですが、繰越金はいくらぐらいになるように調節しているのですか？</p>
事 務 局	<p>歳出の中で医療費の支出がどの程度伸びるか、予測がつかない部分があります。年によって流行の病気が発生したりとか医療費の伸びを見ながら、予算が不足しないように補正予算を組んでいます。最終的にその余った額が決算剰余金になります。当初予算では、繰越金を3,000万で組んでいます、毎年度その金額以上に残っている状況です。なるべくその3,000万円に近づける努力は必要かなと思っておりますが、予算が不足してしまうことを考えると、どうしても余力を持って予算を組んでいるのが現状です。</p>
委 員	<p>一番影響があるのはインフルエンザですかね。</p>
事 務 局	<p>昨年度、インフルエンザが流行っていましたが、その影響で増えたかどうかその原因まではつかんでいません。</p>

## 会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議 長	<p>他に質問はございませんか。 ないようですので、それでは、議事については以上です。この2つの議題について、原案のとおり異議のない旨答申したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>「はい」と言う声あり。</p>
議 長	<p>では、異議のない旨答申します。これにて審議を終了し、議長の職を解かせていただきます。</p>
	<p>6 その他</p>
事 務 局	<p>—資料 別添1、別添2を示して説明— (一略—)</p>
	<p>7 閉 会</p> <p>閉会のあいさつを副会長からお願いいたします。</p>
副 会 長	<p>以上をもちまして、平成26年度第2回北本市国民健康保険運営協議会を終了いたします。</p>

議事の概要を記載し、その相違なきを証するためにここに署名する。

平成26年8月22日

会 長 大熊利之

署名委員 田村 恵司

署名委員 中村 哲哉